

あなたの夢をカタチに

Dreams Come True

いま、夢の扉を開く



山形県立米沢興讓館高等学校



〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地
TEL.0238-38-4741 FAX.0238-38-2531
URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp>

平成30年度より新たに「探究科」が設置されました！

切り拓く、未来への挑戦！ 創り出す、新たな力

《 本校の教育目標 》

< 教育精神 > 「興譲」の精神

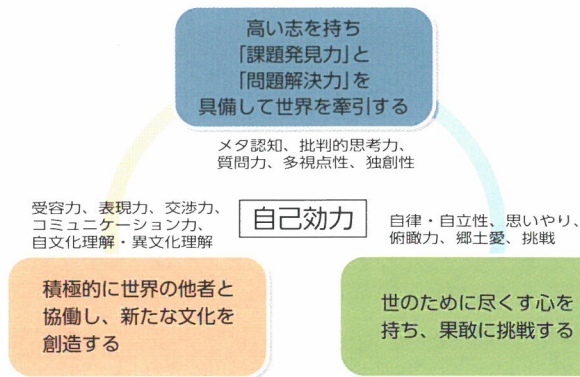
1. 自他の生命を尊重する精神
2. 己を磨き、誠を尽くす精神
3. 世のために尽くす精神

[目指す生徒像]

いのちを尊び、新たな価値創造の志を持ち挑戦する生徒

- ①自他の生命を尊重し、調和の取れた人間性豊かな生徒
- ②謙虚に学ぶ姿勢を身につけ、高い志を持ってその実現に向けて努力する生徒
- ③次代（グローバル・AI社会）のリーダーとして、自立し、世のために尽くそうとする生徒

[興譲館版 doc(domain of competence)]



未来を切り拓く 資質・能力の育成

《 学科の特色 》

次期大学入試への 対応に向けて

【 探 究 科 】

- ・基礎的知識・技能を活用し、より高度で発展的な探究型学習を重視
- ・高い志と深い知見を有し、挑戦する心と創造性を持ち、将来世界を牽引する人材を育成

<国際探究科>

- ・英語及び国語・地歴公民などの文系教科の学習に重点
- ・国際的視野を持ち交渉力・マネジメント能力を備えた、将来の社会・文化的イノベーターを育成

英語コミュニケーション力
多視点性・異文化理解
世界へ挑戦する態度

<理数探究科>

- ・数学・理科の理系教科及び英語の学習に重点
- ・国際的視野を持ち創造力・表現力を備えた、将来のサイエンスイノベーターを育成

科学的思考力
独創性
世界へ挑戦する態度

【 普 通 科 】

- ・普通教育をバランスよく展開
- ・幅広い知見と次代（グローバル・AI社会）を主体的に生き抜く力を有し、世のために尽くす、将来のリーダーとなる豊かな人材を育成



超難関大学から、個々の志望に応じた大学まで

興譲館版キャリア教育実践プログラム
SSHによる活動とその成果を活かして

「知りたい」「学びたい」からはじまる新たな出会い あなたの「？」を大切にします！

夢をカタチに・・・興譲館3年間の学び

1年

探究科 定員80名 (2クラス)

普通科 定員120名 (3クラス)



○「異分野融合サイエンス (FS)」 全教科が協働する探究型学習の基礎

○「ロジカルコミュニケーションI (LCI)」
国語科を核に論理的思考力の基礎養成

・学習オリエンテーションによる学習支援 ・科、系選択ガイダンスによる進路選択指導
・ESDエキスパート制による3年間の一貫指導体制

2年

国際探究科

理数探究科

普通科文系

普通科理系

コミュニケーション力
プレゼンテーション
スキル養成

○「ロジカル (LCII) コミュニケーションII」

○「サイエンス (SCI) コミュニケーションI」

○「スーパーサイエンスリサーチ (SSR)」2単位
各教科協働による課題研究と発表

○海外研修の実施
・台湾研修
※国立台湾師範大附属高級中学と姉妹校
・シンガポール、マレーシア研修



○「スーパーサイエンスリサーチ (SSR)」1単位
各教科協働による課題研究と発表

○進路に応じた選択科目の配置①
・「古文発展」(文学系等) ・「数学bridge」
・「歴史発展」(歴史学系等) 3年数学への橋渡し
・「英語発展」(語学系等)

○関西キャリア研修
関西(京都・大阪・神戸方面)で企業・大学訪問

・KITプロジェクト、友子会などの個に応じた、難関大志望者向けの指導

3年

国際探究科

理数探究科

普通科文系

普通科理系

○「ロジカル (LCIII) コミュニケーションIII」

○「サイエンス (SCII) コミュニケーションII」

○地歴2科目履修
可能(東大等文系
難関大受験対応)

英語による論文・ポスター
作成、発表準備

○進路に応じた選択科目の配置②
・「音楽研究」、「美術研究」
(芸術系志望にも対応)
・理系1 数学Ⅲ履修
・理系2 数学Ⅲを必要
としない者対象



・ESDエキスパート制、KITプロジェクト、友子会などの指導の継続
・AO・推薦入試、センター試験、国公立二次試験向け対策

自己実現(目指す進路希望達成)

Q & A

Q1 探究科とはどのような学科ですか？

A： 現代は「グローバル化」「情報化」などで日々の変化が激しい時代です。これからは、急激な社会の変化に対し柔軟に対応できるよう単に知識を学ぶだけでなく、思考・判断し知識を活用する力が必要になります。

これからの大学入試もこのことに即して、変更されます。

探究科は、そのような力の育成を目指す学科であり、力を身につけるために、自ら課題を発見し解決に取り組む、「探究型学習」を重視します。

探究型学習について興譲館高校は、スーパーサイエンスハイスクール(S S H)として以前から取り入れており、学校全体の取り組みとしてさらに発展させていくことを目指しています。

Q2 探究科は普通科とどう違うのですか？

A： 普通科が普通教科をバランスよく学習するのに対し、探究科は探究型学習の時間を多く設けています。また、学校設定科目により、さまざま特色ある科目を開講し授業を行います。

Q3 国際探究科と理数探究科は違うのですか？

A： 国際探究科は、英語をはじめとして国語・地歴公民などの文系教科の学習に重点を置く学科となります。一方、理数探究科は、数学・理科の理系教科に加えて英語の学習に重点を置いた学科となります。

特色ある科目として、例えば、国際探究科には論理的思考を養成するロジカルコミュニケーション(L C)が、理数探究科には国語科・英語科協働でコミュニケーション力を養成する、サイエンスコミュニケーション(S C)があります。また、探究型学習の核となる科目として、課題研究を行うスーパーサイエンスリサーチ(S S R)が共通して配置されています。

Q4 探究科にはさまざまな活動があるため忙しくなり、部活動ができなくなったりしませんか？

A： 探究科としてさまざまな活動があることは事実です。一方で、そのような活動がこれからの社会において必要な力であることは、Q1に書いてあるとおりです。さまざまな活動を、自分の力で計画を立て実行していくことは大切なことといえます。

興譲館高校は、みなさんが部活動はもちろんのことさまざまな活動に打ち込めるよう支援していきます。あなたが究めたい活動に一生懸命取り組める学校です。

Q5 探究科と普通科の入学選抜について教えてください。

A： 入学選抜は、探究科(定員80名)と普通科(120名)を別々に募集します。この際に、探究科を第一、普通科を第二志望として出願できます。一方、普通科を第一志望とした場合は探究科を第二志望にはできません。(なお普通科選抜において第一・第二志望は同等に扱います。)

また、探究科選抜において、引き続き傾斜配点の実施を予定しています。

Q6 理数科はなくなってしまうのですか？

A： 理数科がなくなるわけではありません。専門学科「理数探究科」として継続します。

また、新たな専門学科として国際関係に関する学科として「国際探究科」が設置され、あわせて探究科となります。

一人ひとりの夢をカタチにするために

その芽、大きく育てます！